

2019年8月の天候（山形県）

目 次

- 1 天候経過
- 2 日々の気圧配置
- 3 気候統計値
- 4 気象経過図
- 5 気象分布図
- 6 極値・順位値更新
- 7 その他

山形地方気象台

本資料に関する問い合わせ先
山形地方気象台
T E L 023-622-0632
F A X 023-633-0620

[注意事項]

本資料に掲載されている観測値は断り書きがない限り、山形は気象官署、酒田、新庄は特別地域気象観測所、鶴岡・長井・米沢は地域気象観測所の観測値を使用しております。資料中の観測値は、後日、内容を訂正・追加する場合があります。

なお、本資料の著作権は山形地方気象台が有しています。掲載されているデータや図表を利用する場合は「山形地方気象台の資料に拠った」旨記載してください。

また、営利を目的に増刷など行う場合は所定の手続きに拠るものとします。

【8月の特徴】

1 天候経過

○上旬と中旬の高温 ○上旬の置賜の少雨

この期間、上旬から中旬にかけては高気圧に覆われ晴れる日が多かったが、台風や低気圧、前線の影響により大雨となった日もあった。

8月15日は台風第10号からの暖かい空気の流入やフェーン現象により、浜中と鼠ヶ関では日最高気温の高い方からの年間通して第1位を更新した。

月平均気温は高く、置賜と庄内ではかなり高い所があった。月降水量は平年並で、置賜と庄内、最上では多い所が、村山と置賜、最上では少ない所があった。月間日照時間は多いから平年並。

上旬

この期間、高気圧に覆われ晴れの日が多かったが、後半は低気圧や前線の影響により曇りや雨の日があり、8日は村山で、10日は庄内と最上で大雨となった所があった。

旬平均気温はかなり高い。旬降水量は多いから平年並だが、置賜でかなり少ない。旬間日照時間は多く、かなり多い所もあった。

中旬

高気圧に覆われ晴れる日が多かったが、台風や低気圧の影響により曇りや雨の日もあった。16日は台風第10号の影響により最上で大雨となった所があった。また、20日は低気圧や前線の影響で県内の広い範囲で大雨となった。

旬平均気温はかなり高い。旬降水量は庄内と最上で多い所があるほかは平年並。旬間日照時間は最上で多いほかは概ね平年並。

下旬

低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。23日と28日から29日にかけては県内の広い範囲で、25日は置賜と庄内で大雨となった。

旬平均気温は平年並で、村山と置賜、最上では低い所があった。月間降水量は平年並から多く、置賜と庄内ではかなり多い所が、最上では少ない所があった。旬間日照時間は少なく、置賜と庄内でかなり少ない所があった。

2 日々の気圧配置

- 1日：本州付近は高気圧に覆われる。
- 2日：引き続き本州付近は高気圧に覆われる。
- 3日：引き続き本州付近は高気圧に覆われる。
- 4日：引き続き本州付近は高気圧に覆われる。
- 5日：引き続き本州付近は高気圧に覆われる。一方、台風第8号が日本の南にあって西北西へ進む。
- 6日：引き続き本州付近は高気圧に覆われる。一方、台風第8号が九州付近にあって西北西へ進む。
- 7日：引き続き本州付近は高気圧に覆われる。一方、台風第8号から変わった低気圧が朝鮮半島付近にあって北東へ進む。
- 8日：引き続き本州付近は高気圧に覆われる。一方、低気圧が日本海中部にあって東へ進む。
- 9日：北海道付近にある低気圧からのびる寒冷前線が東北地方を通過する。
- 10日：低気圧が東北北部を通過する。
- 11日：高気圧がオホーツク海にあって南東に移動する。
- 12日：高気圧がオホーツク海にあって南東に移動する。一方、台風第10号が日本の南にあって北西へ進む。
- 13日：前線が中国東北区から東北北部を通過して千島近海にのびる。また、台風第10号が日本の南にあって北西へ進む。
- 14日：高気圧が千島近海にあって北日本に張り出す。一方、台風第10号が九州の東にあって北へ進む。
- 15日：高気圧が千島近海にあって北日本に張り出す。一方、台風第10号が四国付近にあって北へ進む。
- 16日：台風第10号が日本海中部にあって北北東へ進む。
- 17日：台風第10号から変わった低気圧が日本海北部にあって東へ進む。
- 18日：本州付近は高気圧に覆われる。
- 19日：引き続き本州付近は高気圧に覆われる。
- 20日：低気圧が東北地方を通過する。また、前線が黄海から東日本にのびる。
- 21日：前線が黄海から山陰沖を通過して関東地方にのびる。
- 22日：前線が朝鮮半島付近から山陰沖を通過して関東地方にのびる。
- 23日：日本海北部にある低気圧からのびる前線が東北地方を通過する。
- 24日：上空に寒気を伴った気圧の谷が北日本を通過する。
- 25日：低気圧が佐渡付近にあって東へ進む。
- 26日：本州付近は高気圧に覆われる。
- 27日：北日本は高気圧に覆われる。
- 28日：華中から東日本を通過して日本のはるか東にのびる前線上の低気圧が東北地方を通過する。
- 29日：前線が華中から東北南部を通過して日本の東にのびる。
- 30日：引き続き前線が華中から東北南部を通過して日本の東にのびる。
- 31日：前線が華中から本州の南岸を通過して日本の東にのびる。

3 気候統計値（2019年 8月）

○ 気象官署

		平均気温(°C)				降水量(mm)				日照時間(h)			
		本年	平年	平年差	階級区分	本年	平年	平年比	階級区分	本年	平年	平年比	階級区分
山形	上旬	28.7	25.7	+3.0	かなり高い	58.5	45.5	129	多い	92.7	60.9	152	かなり多い
	中旬	27.8	25.0	+2.8	かなり高い	15.0	41.0	37	平年並	64.6	58.0	111	平年並
	下旬	24.0	24.1	-0.1	平年並	75.5	64.3	117	平年並	38.6	59.6	65	少ない
	月	26.8	24.9	+1.9	高い	149.0	150.8	99	平年並	195.9	178.4	110	平年並

○ 特別地域気象観測所

		平均気温(°C)				降水量(mm)				日照時間(h)			
		本年	平年	平年差	階級区分	本年	平年	平年比	階級区分	本年	平年	平年比	階級区分
酒田	上旬	28.4	25.8	+2.6	かなり高い	68.0	38.1	178	多い	102.8	70.6	146	多い
	中旬	28.3	25.7	+2.6	かなり高い	42.5	53.1	80	平年並	81.2	70.0	116	平年並
	下旬	24.4	24.6	-0.2	平年並	90.5	87.3	104	平年並	49.5	67.6	73	少ない
	月	27.0	25.3	+1.7	高い	201.0	178.5	113	平年並	233.5	208.2	112	多い
新庄	上旬	27.6	24.7	+2.9	かなり高い	80.5	40.1	201	多い	91.7	58.7	156	かなり多い
	中旬	26.9	24.4	+2.5	かなり高い	43.0	56.5	76	平年並	72.1	58.8	123	多い
	下旬	23.1	23.2	-0.1	平年並	59.5	70.3	85	平年並	39.9	54.8	73	少ない
	月	25.8	24.1	+1.7	高い	183.0	166.9	110	平年並	203.7	172.3	118	多い

○ 地域気象観測所

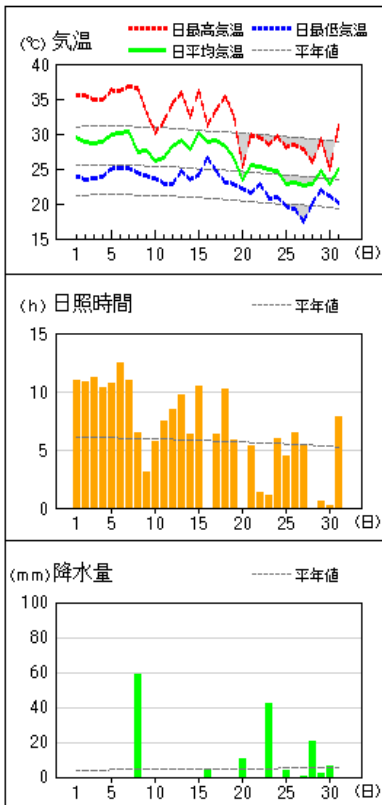
		平均気温(°C)				降水量(mm)				日照時間(h)			
		本年	平年	平年差	階級区分	本年	平年	平年比	階級区分	本年	平年	平年比	階級区分
米沢	上旬	28.3	25.2	+3.1	かなり高い	0.0	45.8	0	かなり少ない	101.2	61.5	165	かなり多い
	中旬	26.9	24.7	+2.2	かなり高い	35.5	46.0	77	平年並	71.5	61.5	116	平年並
	下旬	22.9	23.7	-0.8	低い	71.5	57.1	125	多い	34.7	61.4	57	かなり少ない
	月	25.9	24.5	+1.4	高い	107.0	148.8	72	平年並	207.4	184.0	113	平年並

注) 次の表示の場合 X:欠測) : 準正常値] : 資料不足値 - : 現象なし。平年値は1981~2010年の平均値。

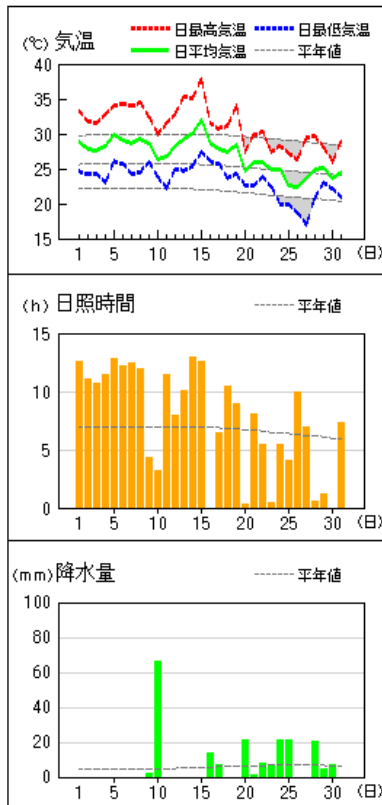
4 経過図 (2019年 8月)

アメダス 気象経過図：2019年08月01日-2019年08月31日

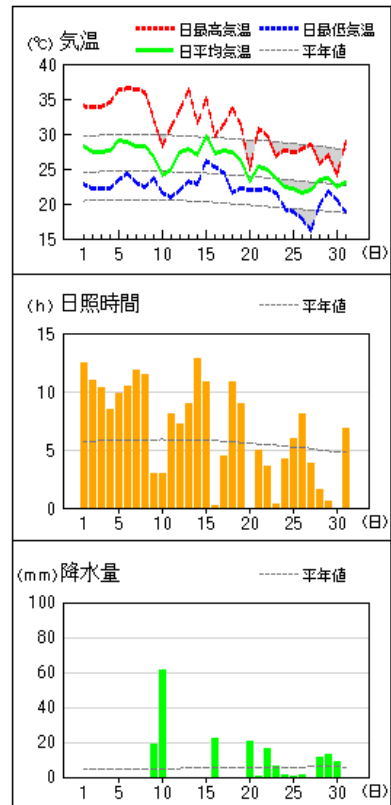
山形



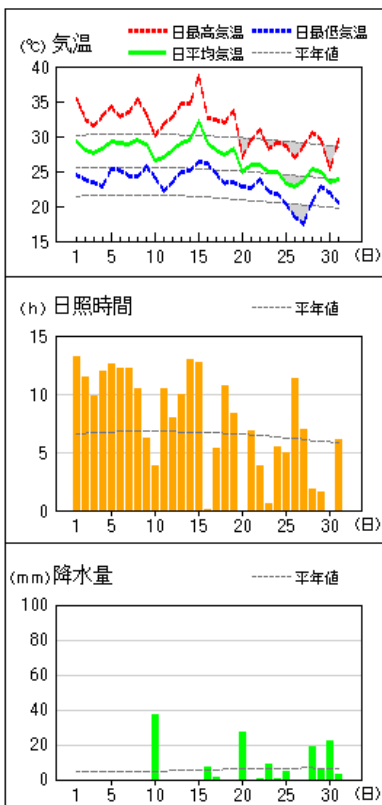
酒田



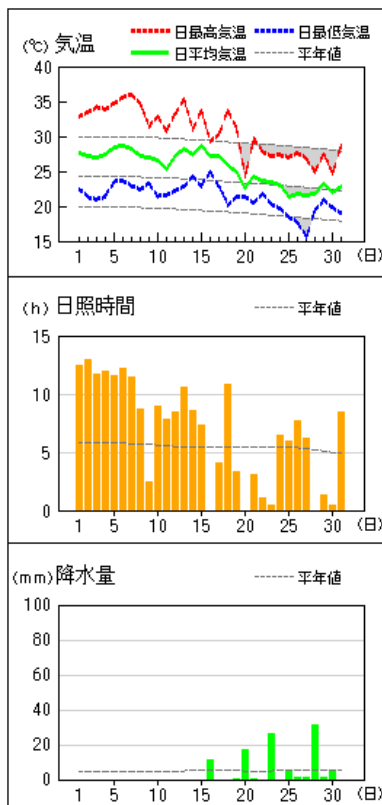
新庄



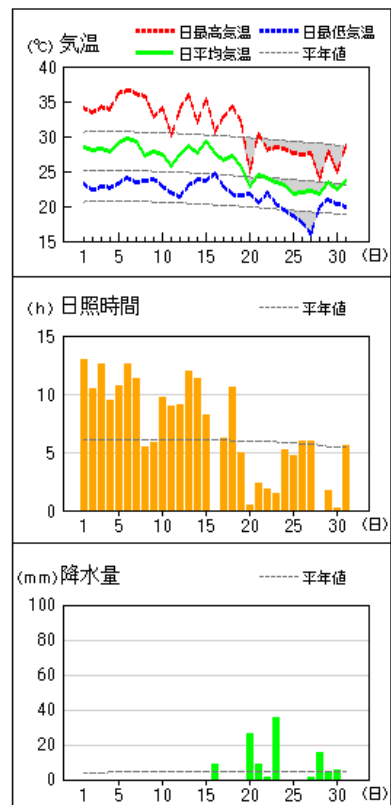
鶴岡



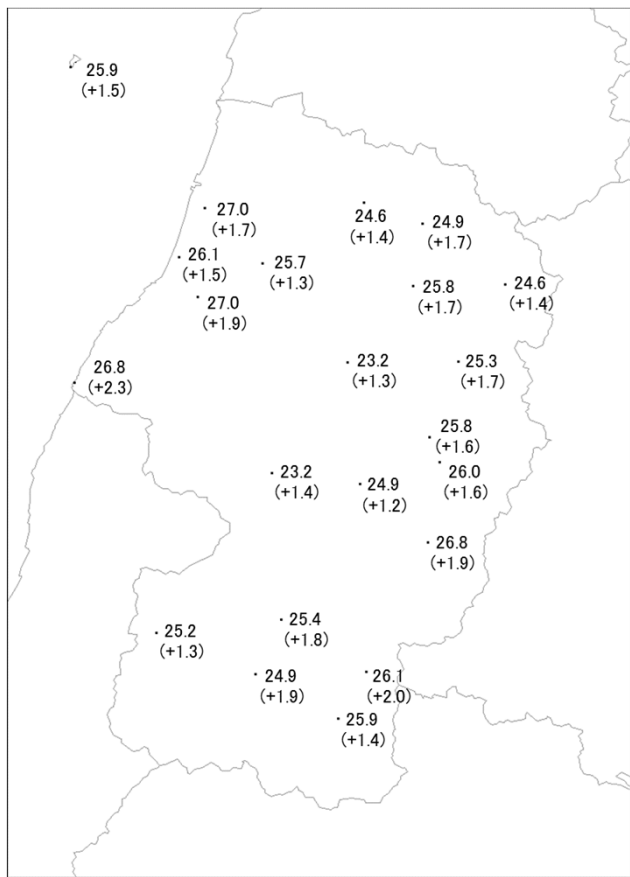
長井



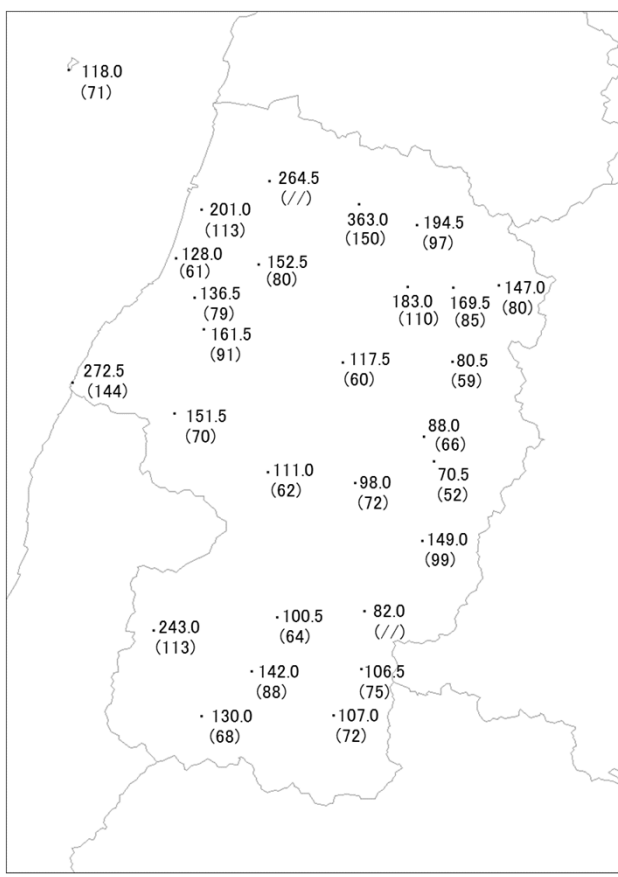
米沢



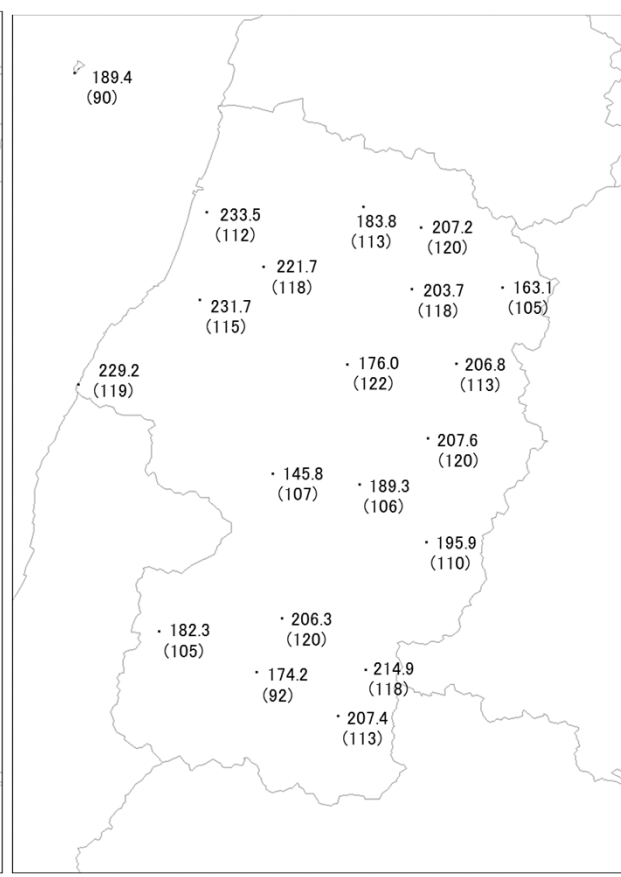
5 気象分布図（2019年 8月）



平均気温(°C)



降水量(mm)



日照時間(hour)

)は準正常値、]は資料不足値を示す。
 平均気温の()内は平年差(°C)、降水量の()内は平年比(%）、日照時間の()内は平年比(%を示す。
 平年値は1981-2010年の統計による。

6 極値・順位値更新表 (2019年 8月)

気象官署及び特別地域気象観測所(山形、酒田、新庄) 8月として第1位~3位更新を記載

要素名 (単位)	地点名	観測値	順位	観測日	従来の 1位	観測年月日	統計開始
日最大10分間降水量 (mm)	酒田	23.0	1	8月10日	21.0	2000年8月23日	1937年
日最低気温の高い方から (℃)	酒田	27.5	1	8月15日	27.4	2006年8月18日	1937年
	新庄	26.1	1	8月15日	25.6	1983年8月17日	1958年
日最小相対湿度 (%)	新庄	29	2	8月7日	20	1993年8月31日	1958年

地域気象観測所(山形、新庄、酒田除く): 8月として第1位のみ記載(統計期間10年以上を記載)

要素名 (単位)	地点名	観測値	順位	観測日	従来の 1位	観測年月日	統計開始
日最高気温の高い方から (℃)	浜中	38.4 ^{※1}	1	8月15日	37.1	2018年8月23日	2003年
	鼠ヶ関	40.4 ^{※1}	1	8月15日	38.2	2018年8月23日	1977年
日最低気温の高い方から (℃)	鼠ヶ関	28.6 ^{※1}	1	8月15日	27.9	1983年8月17日	1977年
	村山	25.3 ^{※1}	1	8月16日	24.6	2010年8月7日	2002年
	東根	25.5	1	8月16日	24.8	2010年8月7日	2003年
	左沢	24.4 ^{※1}	1	8月16日	24.2	2006年8月19日	1977年
	長井	25.0 ^{※2}	1	8月16日	25.0	1994年8月4日	1977年
	高島	24.8 ^{※2}	1	8月15日	24.8	1983年8月17日	1977年

※1年を通じても第1位を更新

※2同じ値(タイ記録)の場合は起日の新しい方を上位とする

7 その他

生物季節観測

気象庁では、全国の気象官署で統一した基準により「うめ」・「さくら」の開花した日、「かえで」・「いちろう」が紅（黄）葉した日などの植物季節観測や、「うぐいす」・「あぶらぜみ」の鳴き声を初めて聞いた日、「つばめ」・「ほたる」を初めて見た日などの動物季節観測を行っています。

観測された結果は、季節の遅れ進みや、気候の違いなど総合的な気象状況の推移を把握するのに用いられる他、新聞やテレビなどにより生活情報のひとつとして利用されています。

【生物季節観測】（2019年 8月）

種目	現象	2019年	平年	平年との差	2018年	昨年との差	観測した場所
すすき	開花	8月7日	8月15日	8日早い	8月23日	16日早い	気象台構内
やまはぎ	開花	8月15日	8月28日	13日早い	8月27日	12日早い	気象台構内
えんまこおろぎ	初鳴	8月11日	8月14日	3日早い	7月30日	12日遅い	山形市城西町
あきあかね	初見	8月27日	8月14日	13日遅い	8月8日	19日遅い	気象台構内

生物季節観測の状況は山形地方気象台のホームページでご覧いただけます。

https://www.jma-net.go.jp/yamagata/seibutu/seibutu_top.html#seibutu